

世界でいちばんの  
ニットカンパニーになろう

SAWADA CO.,LTD.

SAWADA HONG KONG CO.,LTD.

SAWADA SHANGHAI CO.,LTD.







## 世界でいちばんの ニットカンパニーになろう

一本の糸がよりあわされることでつよくなり、  
編まれることで人を温かく包みこむものになるように、  
Osaka生まれの一人の糸商、澤田の想いは、今、多くの人の  
思いからなるニットカンパニーSAWADAへと成長。

原糸から最終製品までをサポートする  
ニットウェアづくりのパートナーとして、  
世界中のニット工場に糸を、多くのアパレルメーカーに製品を  
お届けするようになりました。

また、培ってきた技術と感性を注いだ自社ブランドADAWAS、  
ami amieを立ち上げ、世界への発信もスタートしています。

私たちが目指すのは、世界でいちばんのニットカンパニー。  
それは、規模のいちばんということではなく、  
SAWADAらしい仕事のいちばん。

ニットが大好きのいちばん。誠実、正直のいちばん。  
小さくても世界になくてはならない存在のいちばんです。



## つながって、 ともに発展するSAWADA

SAWADA: Strong bonds to develop together.

ニット用原糸づくりから、ニット製品のOEM生産、さらに自社ブランドの製品づくりまで。私たちの多面的な事業は、一社だけで成り立つものではありません。技術や感性を磨き、共にチャレンジを続ける多くのお取引企業様との繋がりのなかに、SAWADAの仕事があります。

### Apparel Maker

#### アパレルメーカー

約100社のアパレルメーカーのニット製品を、OEMスタイルで企画・生産を担っています。たくさんの点数のニット製品開発が同時進行で進んでいます。

### Spinning Mill

#### 紡績工場

国内外10社の紡績工場とともに、私たちはニット原糸をつくっています。カシミヤを専門とする会社など、それぞれが高い専門技術を持った紡績工場ばかりです。

SAWADA  
Y A R N S

### Twisting Mill

#### 撚糸工場

撚糸(ねんし)とは糸に撚り(より)をかけること。糸を丈夫にするために行われていたものですが、現在は多様な撚糸で糸に様々な表情をつけます。国内6社の撚糸工場とお取引引きしています。

### Dyeing Factory

#### 染工場

紡がれた糸を目指す色へと染める専門の染工場です。国内10社の信頼できる染工場、SAWADAの原糸の豊かなカラーバリエーションが生まれています。

### Knitwear Factory

#### ニット製品工場(国内・国外)

原糸の販売の面では、国内外200社以上のニット製品工場に私たちの糸が届けられています。ニットウェアづくりの面では、信頼できる国内外16社のニット製品工場と良質な製品をつくりあげています。

### Retail Shop

#### 百貨店・セレクトショップ

最近では小売業でもプライベートブランドでの製品開発をする企業が増えています。ニット製品に関しては、私たちが企画から生産までをバックアップしています。

### SAWADAのつくるもの その1

## ニット原糸 *Yarn*

埋もれてしまわないユニークさを持っていること、ニットウェアのデザインの幅を広げるような原糸であることをモットーに、SAWADAは毎年20種類以上のオリジナル原糸を企画・開発しています。また、日本、香港、上海、に、100以上の素材を豊富なカラーバリエーションとともにストックし、お客様の要望にスピーディに応え、1kgからデリバリーする体制を整えています。

#### 人気の原糸 DANDELION(ダンデリオン)

キッドモヘア(生後3ヶ月までのアンゴラヤギから採れる希少なモヘア)を55%も含むソフトな素材。毛足が長く、独特の光沢とさらりとした感触が特徴。54色のオリジナルカラーを日本と香港で全色ストック。

### SAWADAのつくるもの その2

## 編地 *Swatch*

原糸のままでは、編まれたときにどんな仕上がりになるのかイメージしにくいもの。また同じ原糸でも、編み方一つで風合いは大きく変わります。そこでSAWADAでは自社のオリジナル原糸がもっている魅力を最大限に引き出してお客様に伝える「編地」をつくり、展示会やショールームで発表しています。デザインパターンは年間約500点にも及び、そのデザインも高い評価をいただいています。

### SAWADAのつくるもの その3

## ニットウェア *Knitwear*

ニットウェアづくりの“縁の下の力持ち”。SAWADAは約100のアパレルメーカーのニットウェアをOEM生産で支えています。アパレルメーカーから示される方向性に沿って、素材・デザインの提案から行い、国内外のニットウェア工場での生産までを担当します。近年は、ADAWAS、ami amieという自社ブランドでの製品づくりにも着手。最終製品まで自社でつくることで、どんな原糸が求められているのかも見え、原糸の開発との相乗効果も生まれています。

ADAWAS ami amie





## SAWADAは小さくても 世界とつながっている会社

SAWADA:Working on a global stage.

私たちのつくった原糸、ニットウェアが、世界の何カ国で使われ、着られているのかはもう数え切れません。はるか遠い国にも、私たちの糸が編み込まれたもので体と心を温めている人がいる。これからも、もっと新しい出会いのために。SAWADAは世界を見て、人との繋がりを大切に歩きつづけます。

## Osaka

大阪本社・大阪営業所



繊維産業の街としても知られる大阪府泉大津市が私たちの本拠地です。この街で1969年、地元産の糸を売る糸商として澤田株式会社はスタートし、以来、現在に至るまでこの泉大津に本社を置き、地元の産業とともに発展してきました。世界の80都市を結ぶ西日本の空の玄関口、関西国際空港にも近く、グローバルなビジネスの時代となった今も、より重要性を増しているSAWADAのホームタウンです。2002年からは大阪市中央区にも大阪営業所を開設しています。

## Hong Kong

SAWADA HONG KONG CO.,LTD.



2003年、香港に現地法人、澤田紡織有限公司を設立。現在は4名のメンバーがここを拠点に、ニット原糸のマーケティング、販売を行っています。また、お客様のご要望に答えられるよう、香港にも多くの原糸をストックしています。ヨーロッパやアメリカのアパレルメーカーへの素材提案力と、アパレルメーカーの工場がある中国、ベトナムなどへの素材供給力の両方を高めています。

## Paris

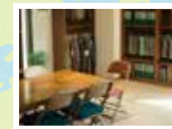
ニット製品展示会

SAWADAが2008年より展開している自社ブランドは、世界のアパレルブランドが集う製品展示会PARIS SUR MODEに毎年、出展し、高い評価をいただいています。素材の持つ風合いや特性を大切に表現したニットブランドADAWASの製品は、そこで多くのバイヤーの目に留まり、今ではフランス、ベルギー、エジプト、サウジアラビアといった世界15カ国で販売されるようになりました。2011年から立ち上げたニット専門キッズブランドami amieも、ベビー・キッズ・マタニティー製品の世界最大規模の展示会PLAYTIME PARISなどに出席し、海外のお客様との取引が本格化しています。



## Tokyo

東京営業所



東京を拠点とするアパレルメーカー様への対応をよりスピーディにするため、1988年より開設した東京営業所。1998年からはファッションの発信地、南青山に移転し、ショールームを兼ねた営業所として多くのお客様が訪れてくださっています。

## Shanghai

SAWADA SHANGHAI CO.,LTD.



2012年、上海に現地法人、澤田商貿有限公司を設立。現在は6名のメンバーがここを拠点に、ニット原糸のマーケティング、販売を行っています。上海に拠点を持つことで、世界のアパレルメーカーの生産を行う中国の工場に素材を迅速に供給することが可能になりました。また近年は中国のアパレルメーカーもデザイン力を高めているため、私たちの原糸が求められています。

## Firenze

ニット糸展示会

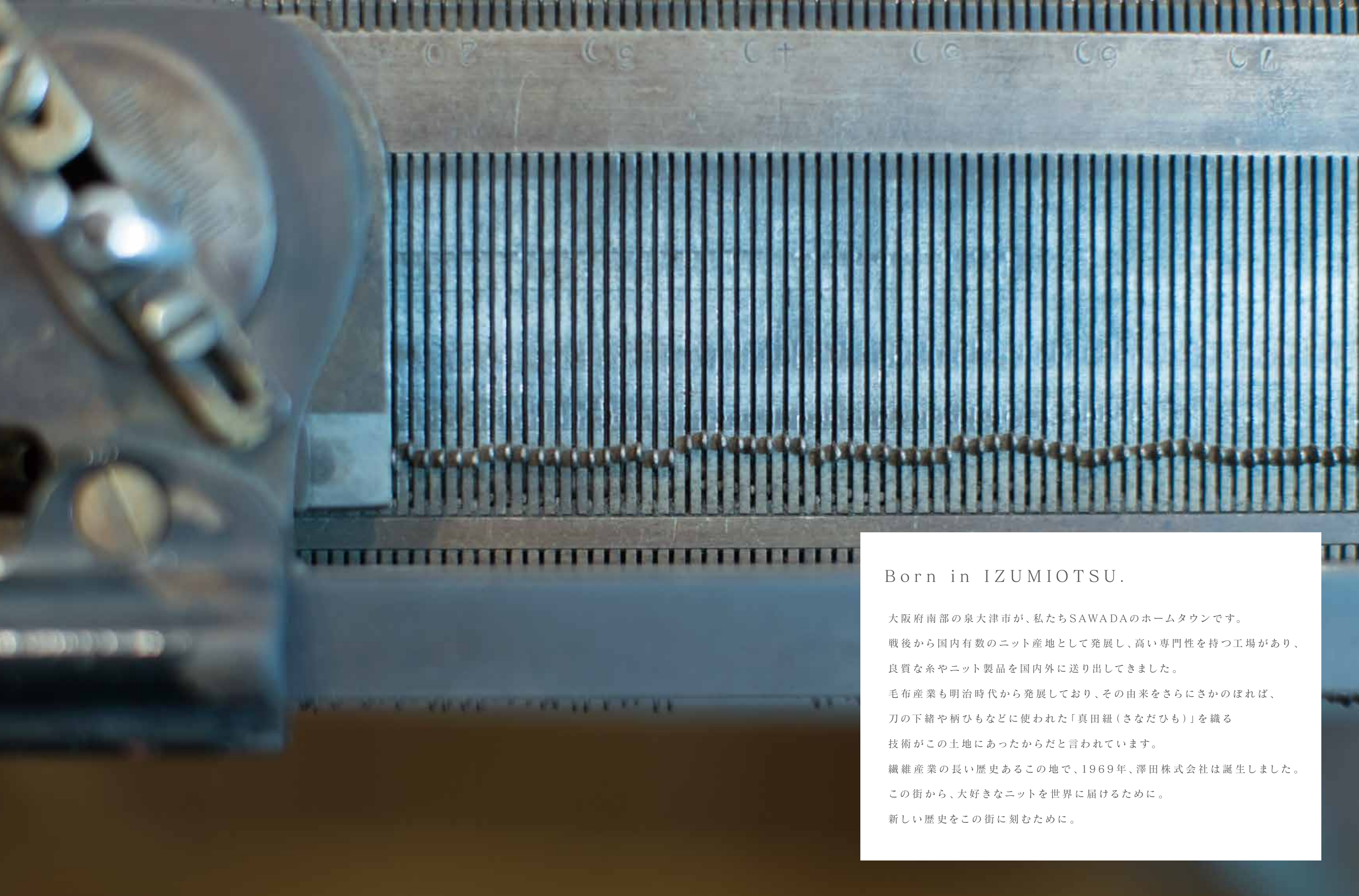
年に2回、イタリアのフィレンツェで開かれるニット糸の世界最大規模の展示会がPITTI IMMAGINE FILATI(ピティ・フィラーティ)です。糸の開発という面においても、ニット製品の企画・デザインにおいても、ここから発信される情報、感性は私たちにとって重要なものです。SAWADAからもメンバーが訪問し、世界の糸づくり企業、糸商、デザイナーとの交流・情報収集を行っています。

※ピティ・フィラーティ

<http://www.pittimmagine.com>







## Born in IZUMIOTSU.

大阪府南部の泉大津市が、私たちSAWADAのホームタウンです。

戦後から国内有数のニット産地として発展し、高い専門性を持つ工場があり、良質な糸やニット製品を国内外に送り出してきました。

毛布産業も明治時代から発展しており、その由来をさらにさかのぼれば、刀の下緒や柄ひもなどに使われた「真田紐(さなだひも)」を織る

技術がこの土地にあったからだと言われています。

繊維産業の長い歴史あるこの地で、1969年、澤田株式会社は誕生しました。

この街から、大好きなニットを世界に届けるために。

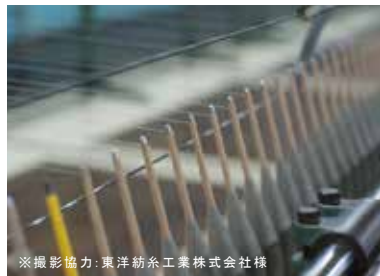
新しい歴史をこの街に刻むために。



# ニットづくりの プロセスぜんぶに関わるSAWADA

SAWADA:Specialized in knitting process.

原料が糸となり、ニット製品になって、着る人へと届く。ニット製品は多くのプロフェッショナルたちの想いと技術がつながってできています。SAWADAはそのプロセスすべてを支え、ニット産業をもっと盛り上げたいと考えています。



※撮影協力:東洋紡糸工業株式会社様

## 1 紡績

原料繊維に撚りをかけて、糸にすること。2種類以上の繊維を混ぜ合わせることもあり、これを「混紡」と言います。たとえばSAWADAの「FOUR MIX」という原糸は、レーヨン、ウール、アンゴラ、カシミアという4種類の原料をバランスよく混紡することで、他にはない質感、弾力性を実現しています。



## 2 意匠撚糸

撚りの強弱によって糸の風合いを変えたり、玉やループをつくって表面にユニークな印象をもたらすのが意匠撚糸です。ユニークな原糸の開発に欠かせない工程です。



※撮影協力:東洋紡糸工業株式会社様

## 3 染色

染色とは糸に色をつけること。糸になる前の原料の段階から染色する方法と、糸にしてから染める方法があります。繊維を傷めることなく、摩擦や洗濯に対する安定性、安全性にも配慮しながら、狙い通りの美しい色出しを、実現しています。



## SAWADA 原糸営業部

大阪と東京で計21名のメンバーが、国内外のニット工場、アパレルメーカーへニット原糸の提案を行っています。安心して使っていただけるニット原糸をタイムリーにお届けすることがいちばんの目標です。大阪や東京での展示会での製品紹介はもちろん、山形、福島、新潟、長野、群馬、山梨、香川、徳島まで日本全国のニット産地へも出かけていきます。

## SAWADA 原糸企画管理部

大阪本社で10名のメンバーが三つの仕事を担当しています。一つ目はお客様の要望に応える新たなニット原糸をつくる「原糸開発」です。専門工場の技術者たちの力もお借りしながら新たな糸をデザインします。二つ目の仕事は「編地」づくりです。この編地提案力がSAWADAの最大の強みです。三つ目の仕事は、お客様から発注いただいた糸の手配や納品、海外への発送といった「デリバリー業務」です。機会ロスのない在庫管理を行い、正確かつスピーディに対応します。



## 4 糸商

糸の産地には、その産地に密着した「糸商」という仕事があり、アパレルメーカーとの間につなぐ、求められる糸を取り次いで販売しています。SAWADAも、はじめは大阪の泉州地域の糸商でした。



## SAWADA 製品OEM営業部

企画会社・アパレルメーカー様からの「こんなニットウェアをつくりたい」というご要望に対し、製品企画からデザイン・素材提案・サンプル作成・生産管理まで、SAWADAのニットウェアづくりのノウハウをご提供し、サポート。東京・大阪で28名のメンバーが約100社のアパレルメーカー様の製品づくりをOEMスタイルでお手伝いしています。



## 5 ニット製品企画

どんなニットウェアをつくり、提案していくか。海外の展示会ではどんな流行の兆しがあるか。アパレルメーカーや企画会社では、常に次のシーズンを見て、製品企画が練られています。



## SAWADA 製品企画部

企画会社・アパレルメーカー様のニット製品の企画立案をサポートするのが目標。製品OEM営業部と連携して、各メーカーのデザイナーの方と打ち合わせを重ねながら、OEM生産するニット製品を企画します。東京で4名のメンバーが担当しています。ADAWAS、ami amieという自社ブランドの製品企画もこの部署で行っています。



## 7 アパレルメーカー

様々なアパレルメーカーがニット製品を扱っており、毎年、新たな製品が発表されています。私たちもADAWASなどの自社ブランドで最終製品の卸販売まで行うようになっています。



## 6 ニット製品生産

糸が編みあげられ、ついにニットウェアができあがります。ニット製品工場は、私たちの糸を使ってくださるお客様であり、私たちが企画したニットウェアを生産してくださる仕入れ先でもあります。



## SAWADA 経理総務部

本社にてお客様への請求、協力企業への支払い、入金・出金の管理、社員の給与計算、人材の採用・育成、働きやすい職場環境づくり、財務、審査業務などを行っています。全社員がより働きやすい職場環境を作ることを目指し、10名のメンバーが働いています。



## 8 販売

ニットウェア製品が店頭に並び、選ばれる場面です。作り手の想いと、着る人の想いが出会います。



## SAWADA 貿易管理部

世界各国のニット工場に、自社の糸を輸出したり、できあがった製品を輸入したり。増えている海外との商品のやりとりを一手に担うのが貿易管理部です。東京・大阪で3名が担当しています。



We are SAWADA.

SAWADAという会社そのものが、  
多彩な個性が編み合わされた  
ニットのようなものでありたい。  
柔軟で、でも丈夫で、あたたかくて、自然体で。  
ニットを愛するメンバーの声をお届けします。

## Members' Voices



### VOICE 01. shingo yamamoto

同じ原料でも、紡績の仕方、編み方のちがいで  
全くちがったものになる。それが楽しい。

山本 真 悟 …大阪本社 原糸企画管理部／2009年入社

私は今、原糸企画管理部で、ニット原糸を販売するためのツールづくりを担当しています。一つは「カラーブック」と呼んでいる色見本帳です。もう一つが、糸を編んだ見本としての「編地」です。SAWADAでは年に2回、ニット原糸の展示会を行っているのですが、その糸の魅力を最大限にお伝えするために、1回の展示会ごとに250～300点の編地を作成して発表しているんです。1年で500～600点にも及ぶ、この編地づくりがSAWADAの強みだと思っています。

私の仕事は、展示会まで半年というスパンのなかで、様々な細かい作業を段取りして、カラーブックと編地づくりを進めること。4台ある編み機をフルで動かして同時作業しながら、約90素材分のツールをつくっていきます。展示会の一ヶ月前がいちばん忙しいときです。自社の展示会以外にも、アメリカや中国で開催される糸の展示会に出展することもあり、その準備も重なってくると、さらにフル稼働となります。夜遅くなることもありますが、編地にこうして触れていただけることは楽しいです。同じ原料でも、紡績の



仕方や混紡によってもちがう風合いが出るし、編み方のちがいで全く変わった編地ができる。なるほど、こうすると、こうなるんだという発見の連続です。ニットや編みというのはすごく奥が深くて、私は入社して5年目、この業務を担当してからは4年目ですが、やっとほんの表面が見えてきたという感じ。先輩や、長年やってこられている取引先の方に比べたら、知識も経験もぜんぜん足りていない。まだまだ経験を積んでいきたいです。

もともと私は理工系出身で、原料の性質や加工方法に興味があります。これからはニットの良さを科学的に裏付けたり、安全性の管理についてもより知識を深め、いい糸づくり、製品づくりに貢献していきたいと考えています。





## VOICE 02.maya kawai

自分が携わった製品が、お店で販売され、  
着てくださっている人がいる喜び。

河合真矢…大阪本社 セラント事業部 営業アシスタント／2012年入社



今はアパレルメーカーさんのOEM生産を行う事業部で、営業アシスタントをしています。ニットウェアができるまでを、先輩のもとで実践しながら勉強中です。今、2年目。最初は全くわからなかった一連の流れが、ようやくわかってきたところです。

まず、アパレルメーカーのデザイナーさんからデザイン案が出てくると、私たちからは糸のカラーブックや編地をお見せしながら、目指すデザインを実現するのにふさわしい糸や編み方をお客様にご提案します。何度かの打ち合わせを経て、製品の型や使う糸が決まると、次はニット製品工場にサンプルづくりを依頼します。あがってきたサンプルをお客様と検討して、修正したい箇所を工場へフィードバックしながら狙いに近づけていきます。

「これでいきましょう」とお客様のOKが出たら、生産を依頼します。平均で300枚くらい。多い場合は3000枚のときもあります。中国など海外の工場で作った場合は、フェリーで港につくとすぐに検品所へ運ばれ、そこで検品を経てアパレルメーカーさんへ納めます。3ヶ月から半年かけて、こうしてニットウェアができています。

この製品づくりのプロセスを、いくつものお客様との間で進めている先輩たちにはまだとても及びません。海外から一度に10パックのサンプルが届くと、そのチェックだけでいっぱいになってしまう自分ですが、もっと知識を増やして、お客様にも工場にも信頼されるようになりたいです。ファッションビルのショーウィンドウの一番前に、自分が携わったセーターがディスプレイされている。初めてそれを見たときは本当に嬉しくて、思わず写真に撮りました。着てくださっている人を街で見かけたときは、しばらく目で追ってしまいます。そんな瞬間が、いちばん喜びを感じる時です。

## VOICE 03.ryosuke ohashi

かっこつけず、誠実に、自分らしく、  
お客様に接する。それがSAWADAらしさ。

大橋諒介…東京営業所 セラント事業部／2012年入社



東京営業所で、製品OEM事業の営業アシスタントとして働いています。2年目の夏からは、自分一人でもお客様を担当するようになり、今、2社のアパレルメーカー様には一人で製品開発のお手伝いをさせていただいています。お客様との商談や打ち合わせはもちろん、国内、海外のニット製品工場、検品所といった社外とのやりとりや、社内では大阪本社の原糸企画管理部にも糸の発注に関わります。自社にはない糸が必要なときは、同業の他社さんに問い合わせで仕入れることもあります。ただ、「やっぱりSAWADAさんの糸がいいですね」と多くのお客様が言ってくださいますし、僕自身、ユニークなSAWADAの糸が大好きなので、自社の糸を製品に使っていただけたときに嬉しいです。社内の製品企画部がつくったニットウェアのサンプル展示会も開催しています。お客様にサンプルを見ていただいて、そのまま作りたいたいと言っていたケースもありますが、一発でこれでいこうということはなかなか難しい。形はこれで、柄はこの編地のようにしたいとか、この色とこの色の間の色が欲しいとか、もうちょっと安くつくる

にはどうしたらいいかなど、お客様の望んでいるイメージに提案を重ねながら近づけていくことが難しいところであり、楽しいところです。海外のニット製品工場に、もうすこしふわっと柔らかくとか、感覚的な修正を伝えることにもとても苦勞します。そんな苦勞を重ねてできあがった製品が、ファッションの通販サイトで売られているのを見たりすると、自分のこのようにドキドキします。お客様から「順調に売れてますよ」と言っていただけたり、SOLD OUTになっていたたりするのを見るとホッとします。SAWADAは自分らしくいられる会社。最初は自分を作ろうとして悩んでいた僕に、お前はそのままで行けばいいと上司が言ってくれた。それからは、頭のいい仕事の仕方はできないけれど、人としての基本的なことをしっかりやって覚えていただこうと思うようになった。SAWADAってそういう会社なんです。





#### VOICE 04.takuya sawabe

みんながお客様のことを考えている。  
SAWADAはそういう“世界でいちばん”を目指す。  
沢 辺 卓 也…東京営業所 営業二部／2010年入社

製品OEM事業の営業を担当して、今、4年目です。アパレルメーカーさん数社を担当して製品開発をお手伝いしています。また、同業他社さんとの合同展示会に出展して、新しいお客様との出会いも創り出すようにしています。

仕事をしていたと思うのは、先人たちが築いてきた対外的な信頼関係です。たとえば今、生産を依頼することの多い中国のニット製品工場とも、様々な強みをもった数十社と良いパートナー関係にあります。今ほど通信手段もなかった時代から一緒にものづくりをしてきた先輩の苦労があったからこそ、今は海を隔ててもスムーズなやりとりができています。近年、ベトナムの工場とも取引を始めており、慣れない苦労もありますが、今度は私の世代がしっかりと関係を構築し、後輩たちに繋いでいく番だと考えています。

また、糸を扱ってきた歴史も、私たちが製品づくりをするうえで、かなり心強い背景になっていると感じます。お客様が製品企画に悩んでおられるときも、糸を変更するご提案で解決することも多くあります。糸だけを見てもイメージしにくいお客様には、社内の



メンバーがつくってくれる編地や製品サンプルからフィットするものをサツと出せるのでお客様に喜ばれます。今、どんな糸が流行しているといった世界の最新情報も社内外の関係者から入ってくる。そういう環境がベースにあるから、営業もお客様のために真摯に向かっているのだと思います。私も毎日のようにお客様のところへ足を運び、お問い合わせには何をおいても早くお応えするように心がけています。

みんなでお客様のことを考えている。想っている。SAWADAはそういう世界を目指す集団です。



#### VOICE 05.yuika hasegawa

一つひとつ、細かい毎日の積み重ねが、  
きっと世界一につながっていく。  
長 谷 川 唯 香…貿易管理・製品企画部／2009年入社

私が担当しているのは、貿易管理の仕事です。大きく分けて糸の輸出と、海外工場で生産したニット製品の輸入の仕事があり、私は後者を担当しています。

輸入の際は、製品1型ごとに、税関で審査を受けるための書類を揃える必要があります。ボタンやリボンがついているか、取り外しできるものかなど、細かいところでも税率が変わってくるので、仕様書をもとにあらかじめ社内の各担当者に聞いてまわって準備しておきます。もし、その書類に不備があったりしては、それまで頑張ってお守ってきた納期が、そこで遅れてしまうことになります。繁忙期には一週間で60型もの商品が生産国から出荷されてきますので、間違いのないように慎重に準備をして、輸入を委託している商社さんに伝えています。

貿易管理の部署はまだ新しい部署で、私自身、もともと貿易の知識があったわけではなく、商社さんに教えていただいたり、貿易の基礎知識の講習を社外で受けたりしながら学んできました。2011年に世界的な貿易のルールの改訂もあり、用語が変わって覚え直したり



といったことはありましたが、今は問題なく日常の貿易管理は進められるようになりました。ただ、海外との関わりはどんどん増えているので、想定していない問い合わせを受けたときの対応力は、経験を積んでもっと高めていきたいです。

クオリティの高いSAWADAの製品づくりは、細かいところまでのチェックや、少しでも早く対応するといった一人ひとりの仕事のクオリティでできていると感じています。私は製品に直接は関わらない仕事ですが、製品一つひとつに真面目に向き合っていくことで、スピードや「SAWADAなら安心」といったクオリティに関わることができる。細かいことが、世界でいちばんという大きなことに直結してくのだと思ってこれからも頑張っていきます。





高い目標を掲げて、  
SAWADAは  
皆で走りはじめました。

澤田 誠 makoto sawada  
代表取締役社長

1969年、澤田株式会社は現会長である澤田隆生によって大阪の泉大津市に設立されました。繊維産業の街に密着した糸商として、地元の企業様とともに歩みはじめます。早くから、糸を売るだけでなく、オリジナルなニット原糸開発に着手し、「ユニークな糸でニットの明日をひらく」を合言葉に、他とは違うおもしろい糸をつくる会社として業界で知っていただくようになります。1988年に東京営業所を、2003年には香港、2012年には上海に現地法人を開設し、小さいながらも仕事の舞台はグローバルなものとなりました。90年代からはニット製品の開発にも力を入れ、今では売上げの約半分をOEMスタイルでの製品事業が占めるまでに成長。糸選びから最終完成品まで、ニットウェアづくりをトータルにサポートする力を蓄えてきました。私自身は、幼い頃から、糸の倉庫の隣りで育ち、ニットに親しみ

ながら、人への礼儀、社員の和を大事にする姿勢、大きな声で挨拶をすることなどを教えられてきました。「継続は力なり 和は力なり」という経営理念も、創業者から何度も言われてしみついているものです。2004年、私が社長に就任してからも、大事にしてきたSAWADAの生き方を忘れることなく、より成長した組織で実践していく仕組みを整えてきました。週1回の朝のミーティングでお互いの仕事の状況を共有する習慣づくりや、仕事の縮図とも言える掃除を朝8時45分からみんなで一斉にやること、また、年に1回は方針発表会を開いて全社員で顔を合わせて語り合ったりと、社員の和が保てるような活動に力を入れています。また、ビジョンを高く持つことで発展を加速させようと、「世界一のニットカンパニーを目指そう」という方針も掲げ、皆で走り始めました。新しいことへの挑戦をやめず、ニットの明日をひらきつづけます。

私たちが、  
大事に  
していること

企業理念

ユニークな糸で、ニットの明日をひらく

経営理念

継続は力なり 和は力なり

営業理念

礼儀正しく、正直に  
お役に立つことを基本とし、  
凡事を徹底すること

人事理念

- ・明るく笑顔で挨拶が出来る人間になろう。
- ・仕事に対して常に厳しさをもち、生き生きと活躍できる楽しい会社になろう。
- ・人を思いやり、自分を知り、自分に勝ち、汗を流して実行しよう。
- ・結果で評価を受ける姿勢を持ち、謙虚さ、感謝の気持ちを持ちつづけよう。
- ・みんなで稼いで、みんなで分配、プラス思考で未来に向かって前進しよう。

行動方針

ありがとう経営









ぬくもりをつくろう。世界へ届けよう。

動物たちのあたたかな毛をいただいて、

撚り合わせて糸にして、編み合わせて編み物にした。

ニットウェアは、厳しい気候のなかを

人が生きるための知恵でした。

世界のお母さんが、愛する家族のために編みました。

それは寒さからからだを守るだけでなく、

心もあたためるものになりました。

ニットの仕事は、ぬくもりをつくる仕事です。

これからも普遍の価値と、無限の可能性をもったニットを、

SAWADAは追いかけて続けます。

世界でいちばんのニットカンパニーへ

SAWADA CO.,LTD.

SAWADA HONG KONG CO.,LTD.

SAWADA SHANGHAI CO.,LTD.





# 澤田株式会社

## □ 本社

〒595-0004 大阪府泉大津市千原町2丁目2番19号

TEL : 0725-33-5544   FAX : 0725-33-5569

E-Mail [info@sawada-co-ltd.co.jp](mailto:info@sawada-co-ltd.co.jp)

URL <http://www.sawada-co-ltd.co.jp>

## □ SELANTA

〒595-0004 大阪府泉大津市千原町2丁目8番7号

TEL : 0725-22-0630   FAX : 0725-33-0311

## □ 東京営業所

〒107-0062 東京都港区南青山6丁目11番8号 M.A.K.フラット5F

TEL : 03-5466-1450   FAX : 03-5466-1451

## □ 大阪営業所

〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町3-1-15 旭洋・宮崎銀行ビル3F

TEL : 06-4706-5544   FAX : 06-4706-5545

## □ SAWADA HONG KONG CO., LTD.

香港九龍尖沙咀梳士巴利道3號星光行15樓1512室

TEL : 852-2115-9033   FAX : 852-2115-9055

## □ SAWADA SHANGHAI CO., LTD.

上海市徐汇区肇嘉浜路789号 均瑶国际广场18F/C2室

TEL : (86)21-64730686   FAX : (86)21-64730816